

授業改善プラン

地域名	東葛飾教育事務所	学校名	我孫子市立白山中学校
-----	----------	-----	------------

1. 課題（全国学力・学習状況調査結果から）

- 平成31年度調査において、「資料の活用」及び「説明すること」に課題が見られた。
- ・資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。

2. 取組のポイント（仮説、改善方法等）

「自分の考えを筋道を立てて根拠を明確にして説明したり表現したりする」「わかったことやできたことを自分の言葉でまとめる」などの活動を行うことで、「論理的に説明する力」を向上させることができるであろう。

3. 具体的な実践

- 5つのポイントで授業改善

- ① グループ隊形で「聞き合う関係」づくり
- ② 「?」で終わる学習課題で問題解決学習を見える化
- ③ 学習課題を見いだす「素材」の工夫
- ④ 自分の言葉でまとめることで授業の理解度をメタ認知
- ⑤ より良い課題解決方法を探る毎時の振り返りシート

上記のような授業改善を通して、授業内において生徒同士で説明し合う関係及び環境をつくった。また学習課題を自ら見だし、自分の言葉でまとめることを積み重ねることで、基礎・基本の定着を図った。

4. 成果

- 毎時の振り返りシートでは、生徒が説明することの必要性を感じていたり、学び合いを通して自分の考えの変容に気付くことができたりする様子が見られた。
- 2学期末に実施した生徒アンケートでは、「分かったこと」を説明することで理解がより深まると感じている生徒が全体の9割以上であった。

◆担当指導主事から（東葛飾教育事務所 指導主事 林部 理絵）

白山中学校は、平成30年度並びに今年度の調査結果の分析から、記述式の問題や「資料の活用」の問題に課題を見出し、上記の「5つのポイント」を数学科の共通した授業実践として取り組んできた。生徒自身が「説明すること」「話し合うこと」の意義をしっかりと認識できており、より質の高い話し合いをしたいと向上心が高まっている。様々なoutputの仕方を生徒が身に付けてきている。